

中国の資源開発と少数民族問題

拓殖大学政経学部 教授
奥田進一
(環境法・民法)

1

少数民族自治区とは何か？

- * 民族区域自治政策
→「民族文字・言語の使用権」、「一定の財産管理権」、「一定規模の警察・民兵部隊の組織権」、「区域内で通用する単行法令制定権」等を認める。
- * 自治区、地級行政区(地級市、自治州、盟(アイマク)、地区)、
県級行政区(旗(ホシヨウ)、自治県)、郷級行政区(民族蘇木(ソム)、民族郷)
- * 内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区、チベット自治区、
広西チワン族自治区、寧夏回族自治区

4

中国の少数民族概況

- ☆ 漢族=94%、その他(55の少数民族)=6%
- 漢民族の伝統的居住地は全土の3分の1(約320万km²)
- ☆ **民族識別工作**(1950~1960年代にかけて実施)
- * 「共通言語」・「居住地域」・「経済生活」→客観的基準
- * 「本人の民族意識」→主観的基準
- * 5族(漢・満・蒙・回・蔵)から56族へ
- ☆ 閑話休題
- 五族 **協和**・・・満州国建国理念
- 五族 **共和**・・・中華民国建国理念

2

西部大開発

- * 内陸西部地区を経済成長軌道に乗せるための開発政策
- * 西部12省区・・・甘肅省、貴州省、寧夏回族自治区、青海省、陝西省、四川省、チベット自治区、新疆ウイグル自治区、雲南省、重慶市、内モンゴル自治区、広西チワン族自治区
- * 2000年3月全人大で「西電東送」、「南水北調」、「西気東輸」、「青蔵鉄道」が決定される。
- * 新疆三大油田・・・タリム油田、ジュンガル油田、トゥハ油田
- * 新疆五大製油場・・・独山子、ウルムチ、クラマイ、クチャ、タリム
- * 貧困対策・・・経済融資、教育支援、インフラ整備、科学技術振興

5

中国の主な少数民族の分布



3

自然資源保護の法政策

- * 2007年物権法施行
→ 自然資源にかかる権利の用益物権化
- * 物権化の目的
→ 市場における権利の流通
→ 資源適正配置による経済活性化
- * 自然資源流動化
→ いくつかの問題点により阻害

6

自然資源保護関係法の体系

- * 土地管理法
- * 水法
- * 森林法
- * 草原法
- * 鉱産資源法
- * 漁業法
- * 野生動植物保護法
- * 特殊地域環境保護関係法

開発者は誰か？ ～流動化の阻害要因～

- * 権利主体が不明確
→ 国家所有、集団所有、請負経営権
- * 「集団」とは？
→ 村・郷(鎮)・農民集団経済組織(実態は地方政府)
- * 自然資源の多くは集団所有権
- * 開発者は地方政府
→ 開発は土地収用手続きにより進められる！
→ 農民・牧民への補償は全くないか極めてわずかしかない。

10

中国の土地権利関係

- * 国家所有権(都市)→ 使用权
- * 集団所有権(農村)→ 請負経営権
- * 個人所有権→ ×
- * 集団の主体は何か？
- * 使用权および請負経営権は有期的権利
- * 使用权→ 50～70年(原則)
- * 請負経営権→ 30年(原則)

今後の行方

- * 現政権の課題
→ 地方政府の暴走制御
- * 汚職腐敗防止＝地方政府の利権剥奪
- * 2014年10月12日『紅旗』における劉潤為の記事
「法による治国と人民民主專政の堅持」
… 法治は人民民主專政を代替できない！
→ 習近平は政権を完全に掌握しきれていないのか？
- * 全ての自然資源の国家所有化が期待される。

11

中国の土地関係権利構造



ご清聴ありがとうございます

奥田進一

sokuda@ner.takushoku-u.ac.jp

12